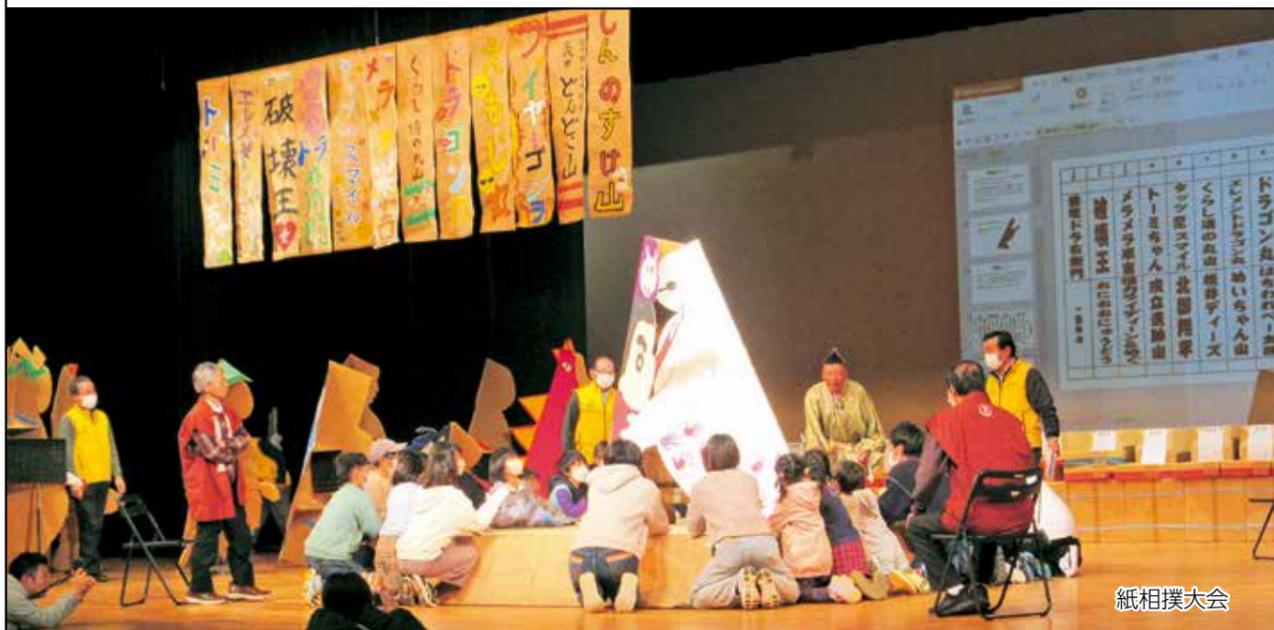


しげの

里づくりの会 かわら版

第18号
しげの里づくりの会
事務局
住所:東御市滋野乙205-1
TEL:0268-71-7581



紙相撲大会



▲みんなで紙の力士を作っています



▲会場で応援する皆さん



▲雷電親子のお墓の前で

雷電巨大紙相撲大会 盛大に開催される

2月23日、段ボールで作った巨大紙相撲大会がサンテラスホールで行われ、約400人が参加しました。これは「しげの里づくりの会」が市内諸団体の協力のもとで実施したものです。紙の力士の高さは雷電と同じ197センチ。思い思いに切り抜き、絵を描き色をつけて作成しました。

市内外から23団体が参加し、滋野地区からは滋野小学校3年生がクラスごとに参加。滋野保育園の保護者の皆さん、大石や桜井地区の皆さん、成立遺跡の振興に取り組んでいる住民グループなどが参加しました。

これまでコロナのため中止せざるを得ませんでしたが、昨年に引き続き本格開催になりました。来年は雷電没後200年になります。雷電を通じて地域のきずながさらに深まることを願っています。

雷電の墓前祭に参加

2月11日は雷電の命日です。千葉県佐倉市の妙覚寺で行われた墓前祭に東御市からバス1台で参加しました。当日は東御市・佐倉市の両市長も参加し、交流しました。帰りに雷電親子のお墓にお参りしました。

▲墓前祭

令和5年春

新役員選出される

しげの里づくりの会はこの4月で設立10年になります。この間滋野地区の活性化のために地域の皆様のご支援のもと様々な取り組みを行ってまいりました。

そして昨年4月の総会において役員の変更が行われ、会長が阿部欣史さん(別府)から若林幹雄さん(中屋敷)に交代しました。それに伴い役員も改選されました(左表参照・写真下)。今後ともよろしく願い申し上げます。



写真 右から副会長の小川原亮さん、若林幹雄会長、副会長の阿部貴代枝さん、関洋一さん、若林豊文さん

「しげの里づくりの会」役員

職務	氏名	集落
会長	若林 幹雄	中屋敷
副会長	関 洋一	大石
	小川原 亮	別府
	阿部 貴代枝	別府
会計	若林 豊文	原口
	山浦 秀司	赤岩
幹事	小川原 正樹	別府
	中沢 利和①	原口
	田口 千秋②	赤岩
	牛山 廣司③	片羽
	後藤 富美男④	片羽
	小菅 毅⑤	桜井
事務局長	大村 裕子	原口
顧問	秋山 廣文	桜井
監事	阿部 欣史	別府
	田口 義隆	中屋敷
	高橋 一嘉	赤岩

(注) ①歴史文化部会長
②産業環境部会長
③支えあい部会長
④青少年育成部会長
⑤生涯学習部会長

スクラムを組んで一歩前へ



会長 若林 幹雄
このたび会長に選任されました若林です。どうぞよろしくお願ひします。新任にあたりこれまで長年にわたりご尽力されました阿部会長はじめ、この度退任される皆様に心より感謝申し上げます。本当にご苦労様でした。

今年(令和5年)はしげの里づくりの会がスタートして10年になります。里づくりの会は滋野十区の区長さんをはじめ、消防団や民生児童委員、育成会の皆さんなど28の団体を代表する129名の皆さんで構成されています。ここには滋野を代表する頭脳と力が結集されています。

ご一緒に滋野をもっと素晴らしい地域にしていきたいと思います。みんなでお考え、議論し、スクラムを組んで一歩前に踏み出そうではありませんか。

ひとり一人が主役



前会長 阿部 欣史
私は令和5年の定期総会で会長を退任いたしました。役員の皆様、地域の皆様には本当にお世話になりました。2期4年、本当にお世話になりました。心から感謝と御礼を申し上げます。

会長として最初の1年は「おらちのえんがわ」を開設したり、巨大紙相撲大会や史跡巡り、通学合宿、「ふれあいのつどい」など多彩な活動が実施されました。しかし、残りの3年間はコロナ禍で諸事業が制約されました。それでも令和3年3月にはコロナ終息の願いを込めて市内5地区の地域づくりの会で「のろし」発信を行うことができました。

ふるさと「滋野」は一人一人が主役です。力を合わせて地域づくりに取り組んで行きましょう。

おらちのえんがわ

営業日▼月・火・木・土 10時から17時まで
(日曜は定休日、水・金は営業していません)

地域の居場所として旧JA滋野支所のとりにオープンして5年です。
お気軽にお立ち寄りください。

支えあい

支えあい部会会長
牛山 廣司

支えあい部会は各区の民生委員さんやシニアの皆さんなどで構成されています。昨年秋には「滋野の未来を考える」として、地域の課題について話し合いました。いま滋野の高齢化率は35%、3人に一人が65才以上です。たとえ一人になっても暮らすことができるように支え合える仕組みが必要です。今年に入って子どもたちと餅つき会を行いました。子どもたちの中には初めて体験する子もいました。一生懸命ついて、たくさん食べてとてもおいしかったです。

産業環境

産業環境部会会長
田口 千秋

産業環境部会は農業関係または、環境の保持に携わっている皆さんのグループです。前年に引き続き農業振興対策の一環としておそばの栽培に取り組みました。手作業にこだわりましたが昨年は猛暑。汗だくでの収穫となりましたが、おかげさまで大豊作でした。災害勉強会では江戸時代に当地に大きな被害をもたらした「戌の満水」(1742年)などについて学びました。

事務局より

多くの会員の献身的なご努力と地域の皆様のご協力によって、令和5年度の活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。本来であれば「かわら版」ももっと早く発行すべきでしたが、当方の手落ちで遅くなってしまいました。お詫び申し上げます。

令和5年

しげの里づくりの会 活動の記録



歴史文化

歴史文化部会会長
中沢 利和

歴史文化部会は、地区から選出された委員と有志で構成されています。昨年は史跡巡りで子どもたちと一緒に、原口にある縄文時代の「戌立遺跡」を訪れました。ここは昭和8年2月に埋蔵文化財としては長野県内で初めての国の指定となった遺跡です。復元住居に入ったり、当時発掘された住居跡の説明を聞きました。今年の春(令和6年4月21日)には保存会の皆さんによる「戌立縄文祭」が行われます。

生涯学習

生涯学習部会会長
小菅 毅

各区公民館長を中心に構成されている生涯学習部会では、4年ぶりに分館交流球技大会・三方ヶ峰登山・写経の会など楽しく開催できました。

滋野小学校金管バンドによる素晴らしい演奏から始まった「滋野地区ふれあいのつどい」では、歌・演奏やダンスなどが披露されたり、絵・書道そして手芸品などが展示され、来場者の目を楽しませてくれました。

また、滋野公民館初のプラネタリウムを使った星空観察会も行うことができ、活気が戻った生涯学習部会でした。

青少年育成

青少年育成部会長
後藤 富美男

本部会の最大の取り組みは6月に行った3泊4日の通学合宿です。子どもたちは滋野コミュニティセンターで共同生活をし、ここから登校します。この間テレビもゲームも家族と会うことも禁止。掃除や食事の準備、後片づけもすべて自分たちで行うので、お友達との協力が欠かせません。通学合宿が子どもたちの成長の一助になることを願っています。通学合宿のボランティアを募集しています。ご応募お待ちしております。